



平成 28 年度釧路支部活動に向けて

北海道看護協会釧路支部

支部長 釧路赤十字病院 西村 由美



時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より釧路支部の運営に多大なるご支援・ご協力をいただきお礼を申し上げます。お陰さまで、滞りなく平成 27 年度の事業を終えることができました。これも会員の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

昨年は、「特定行為に係る看護師の研修制度」や「看護師等の離職時等の届出制度」など看護に関わる重要な法制度が施行されました。また高齢化が急速に進む中で、団塊の世代が全て 75 歳以上となる 2025 年の医療体制のあるべき姿を見すえて、「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。釧路支部においても北海道看護協会平成 27 年度重点目標である「地域包括ケアシステムの構築と推進」に沿って「看護管理者懇談会」「小規模病院施設間交流」「認知症高齢者の看護」等の研修会等を開催し多数の会員の方が出席してくださいました。少子化と超高齢社会は、当地域においても突入してきており、高度な医療から生活支援まで、幅広く包括的に対応できる看護職への期待は大きいと考えます。地域の中で、どのライフステージにおいても、安心して質の高い医療や個々の健康状態に応じたケアの提供、その人らしい生活が送れるよう支援することが看護職に期待されています。

そこで、平成 28 年度も「地域包括ケアシステムの構築」に係る各種研修や事業等を実施する予定です。また 5 月 28 日に第 1 回釧路支部医療安全ネットワーク会議を開催し、今後地域での医療安全ネットワークづくりを推進していく予定であります。

地域の看護・介護職が力をあわせ、ともに患者さんや利用者さんに質の高い看護を提供するために、施設を超えて活動できる機関として看護協会は会員の皆様のニーズを聞きながら、地域に根差した活動を今後も継続していく予定です。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第 44 号

発行日/平成 28 年 8 月

釧路支部会員数

(平成 28 年 6 月)

保健師 84 名

助産師 58 名

看護師 1718 名

准看護師 89 名

総数 1949 名

平成28年度 総会報告

日本看護協会 通常総会に参加して

道東勤医協 訪問看護ステーションすこやか 黒川 薫

私は H28 年度通常総会に 6 月 7,8 日代議員として参加してきました。全国 750 名の代議員と大勢の正会員の方々が幕張メッセのイベント会場はぎっしり埋めつくされており、まず雰囲気には圧倒されました。最初に物故会員さんへの黙とうから始まり、坂本すが会長から 2015 年の振り返りや今年度の重点課題についてなどのお話がありました。特に私は訪問看護ステーションで勤務しているので「住み慣れた地域で最期まで安心して暮らしたい」という国民のニーズに応えるため、今まで以上に在宅・訪問看護領域に力をいれ、地域包括ケアシステムを積極的に推進していく方向で取り組みを進めていくという点が印象的でした。その後は決議事項について説明、質疑、採決と進行されていきましたが、質疑の所では正会員の方々から次々に質問が出され、時間切れになってしまう状況もあり、関心の高さに驚いてしまいました。特に准看護師廃止問題についての質問・意見は多く、今後の動向が気になるところです。職能Ⅱの交流集会にも参加してきましたが、映画「ゆめのほとりー認知症グループホーム福寿荘」自主上映をみてきました。ゆったりとした空間の中で自然体で過ごしている入居者の姿に非常に感激しましたし、看護の原点を見た気がします。私にとって今回の総会は、色々な面で学び多きものでした。

北海道看護協会 通常総会に参加して

社会医療法人孝仁会 星が浦病院 山崎ゆみ子

私は、平成 28 年 6 月 25 日札幌コンベンションセンターで行われた北海道看護協会通常総会に代議員として参加してきました。一般参加、来賓、名誉会員など総勢 800 名以上の参加でした。当日、驚いたのは一般参加者が 600 名参加されていたことです。緊張の中で始まり、4 時間は「あっ」という間の時間でした。内容は、看護協会役員・推薦委員の選出・H27 年事業報告及び決算報告、H28 年度事業計画及び予算書の報告があり、億単位の報告に何度も数を数えてしまいました。

今回、会長に推薦 1 名、立候補 1 名で、今までにない候補者となり投票前に、代議員の一人から「2 人の活動表明を聞いてからの投票にしては」という意見があり、表明後の投票となりました。200 名の代表代議員の一人として投票するという、大変貴重な体験をさせて頂きました。

私は今まで、協会便りを読むことも無く看護協会には全く興味がありませんでしたが、協会の様々な活動、協会費の必要性を知り看護協会への関心を深めることができました。今後、研修などにも参加していきたいと思います。参加させて頂き有難うございました。

北海道看護協会釧路支部大会に参加して

釧路赤十字病院 辻川 さおり

平成 28 年 2 月 20 日、釧路生涯学習センターまなぼつと多目的ホールにおいて、三職能合同公演会と支部大会が行われました。

三職能合同公演会におきましては、「ひとごとではない HIV/AIDS 最新の話題」をテーマにイルファー釧路代表であり釧路労災病院副院長の宮城島拓人先生を講師に迎え、講演していただきました。世界と日本との患者増加の比較や症例を交えてのわかりやすい内容で、テーマの通りひとごとではない身近なことと感じました。

支部大会では初めに支部長の挨拶、来賓の釧路市長の祝辞があり、今後の釧路管内で求められる医療・看護についての話がありました。

役員選挙の開票は滞りなく終了し、新旧役員の紹介・挨拶がありました。今後の釧路管内の看護がよりよくなるため役員を担ってくださる方々にエールを送りつつ、私も看護協会の活動に関心を持ち、参加していこうと思いました。



北海道看護協会 釧路支部 委員紹介



保健師職能委員会

白糠町役場 三宮 直子

保健師職能委員会は、委員長、書記2名、会計5名で構成され、職能集会の企画運営や保健師職能だよりの発行等を行い、会員間の交流を図ると共に保健師としての専門性が十分に発揮できるように、保健活動の質の向上に努めることを目指しています。

保健師の会員は行政(市町村や保健所)だけでなく、がん検診センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、働く人の健康を守る職域等、多岐にわたっています。

職能集会では、一つの分野に偏らずに個々の専門性を高められるよう、また、自分の職場以外での交流を通し、参加してよかったと思っただけのよう、今後の保健師活動が充実したものとなるよう活動していきたいと思っています。

会員皆様のご協力をお願いいたします。



助産師職能委員会

釧路赤十字病院 岩崎 美輝

平成28年度は、委員長・釧路赤十字病院 岩崎、書記・マタニティアイ 成瀬、会計・釧路市立総合病院 杉渕の3名で活動しています。

活動目標は①職能集会を通じて情報の共有・新しい知識を持ち、助産師としての専門性を高めケアの提供ができる。②施設間の情報・意見交換を行い、地域に根付いた母子保健活動に活かす。を掲げております。

活動は、助産師たより年2回の発行を通し、各施設の会員の皆様へ委員の活動の様子や最新の情報の発信などを行っております。また、今年は山王研究所 臨床心理士 橋本洋子先生を助産師職能集会へお招きし、「周産期医療とこころのケア」の講演をして頂く予定です。日々のケアの中で、私達助産師は、母児のこころに寄り添うためのケアを実施していると思います。臨床心理士の橋本先生より、母児に寄り添うためのこころのケアで大切な事を学ぶ機会としていきたいと考えています。

委員3名で、今年度も会員の皆様と共に活動していきたいと考えております。宜しくお願い致します。



看護師職能委員会

釧路労災病院 雪田 悦子

看護師職能委員会は「看護師職能Ⅰ領域」4名「看護師職能Ⅱ領域」2名の6名の委員で活動しています。介護・福祉・在宅領域の「看護師職能Ⅱ」は新設されてから2年目となりますが、まだ活動が明確になっていない部分もあり手探りで進めています。会員の皆様にⅡ領域の活動に

ついて周知していけるよう検討していきたいと考えております。

また、今年度も10月には看護師職能集会、2月には支部大会開催時に3職能合同集会を計画しています。会員間、施設間の交流・知識の向上に繋がる研修を検討中です。ぜひ多くの方に参加していただき交流を図っていただきたいと思います。

こんな話が聞きたい、この講師を呼んでほしいなどご希望がありましたらぜひご意見をお寄せください。



教育委員会

星が浦病院 白旗 春美

教育委員会の主な活動内容は、研修会の企画と運営です。今年度の支部担当研修は、滝川市立高等看護学院 老人看護専門看護師 菅谷清美先生を講師に迎え、H28年9月24日(土)「終末期を迎える認知症患者と家族看護」

を予定しております。支部独自研修会は、H28年11月26日(土)「看護研究合同発表会」および新たに示説発表を予定しております。

教育委員会では、実施した研修の評価を行い、研修会ごとに皆さまからご協力頂いたアンケートを参考に、研修テーマを検討し、講師の選定、ご案内の発送、講師との調整や資料の準備などの企画・運営をしています。

私たちは、皆さまが実践に活かしていただけるように会員のニーズに応え「参加して良かった」と思えるような研修となるよう活動しています。一人でも多くの方々の参加をお待ちしております。



働き続けられる職場づくり推進委員会

釧路赤十字病院 三浦 富士枝

「働き続けられる職場づくり推進委員会」に改名して2年目になりました。

委員会の主な活動は委員および地域への広報活動を行っています。広報活動として、各施設の協力を得て、釧路管内の高校生を対象に

「一日看護師体験」を実施しています。今年度は9月27日に予定しています。体験場面や感想は支部広報誌「きんれんか」で紹介し、北海道看護協会の支部ホームページに掲載しています。広報誌「きんれんか」は年2回(9月、3月)ホームページへ掲載し、総会・研修報告、働き続けるためのワークライフバランス、頑張るナースの紹介などを取り入れた内容としています。

会員の皆様に興味を持っていただける様な情報を発信していきたいと考えています。

平成28年度 北海道看護協会 釧路支部委員

支部役職名	氏名	所属施設	部署又は役職名
支部長	西村 由美	釧路赤十字病院	看護部長
第1副支部長	渡部 明代	市立釧路総合病院	看護課長
第2副支部長	佐藤 千代子	釧路市こども保健部 健康推進課	保健相談主幹
第1書記	大野 澄江	釧路労災病院	師長補佐
第2書記	金澤 尚子	釧路赤十字病院	看護副部長
第1会計	井上 由季子	市立釧路総合病院	看護課長
第2会計	安部 まり子	釧路孝仁会記念病院	看護副部長
推薦委員長	三澤 由美子	釧路労災病院	看護師長
保健師職能委員長	三宮 直子	白糠町役場	健康相談係長
助産師職能委員長	岩崎 美輝	釧路赤十字病院	看護係長
看護師職能委員長	雪田 悦子	釧路労災病院	看護師長
働き続けられる職場づくり推進委員会委員長	三浦 富士枝	釧路赤十字病院	看護係長
教育委員長	白旗 春美	星が浦病院	看護部長

働き続けるために ワークライフバランス

ワークライフバランス(WLB)とは、「仕事と生活の調和」という意味です。

日本看護協会は、「看護職の健康と安全が、患者の健康と安全を守る」という考えに立ち、看護職のワークライフバランスを推進しています。

現代社会では、仕事によって働きすぎてプライベートな生活がおざなりになるどころか、心身の健康を害する人も少なくありません。看護師という職業は、その典型と言えるでしょう。

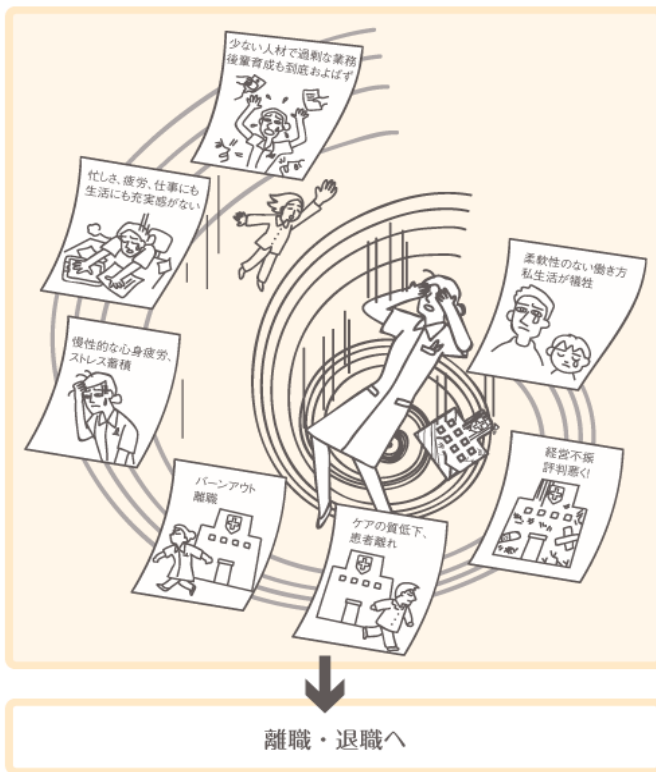
「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ガイドブック」は、WLB 実現のためのガイドブックです。それぞれの施設での取り組みにご活用ください。

看護職にもWLBが必要です。

社会的に …

仕事と生活の間で問題を抱える人の増加 + 少子化対策や労働力の確保が社会全体の課題

看護職も …



仕事では

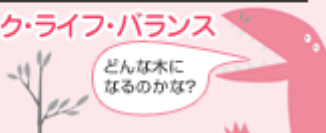
- ・ 残業
- ・ 日勤・夜勤の交代制勤務
- ・ 緊張感の高い業務
- ・ 研修・委員会活動
- ・ 新人・学生指導 etc...

生活では

- ・ 生活・家事
- ・ 育児
- ・ 介護
- ・ ボランティア etc...

>Part 1

看護職のワーク・ライフ・バランス
実現のために
変わる



>Part 2

看護職のワーク・ライフ・バランス
実現のために
行動する



>Part 3

取り組みを支援する制度
(情報サイト・助成制度・相談窓口)



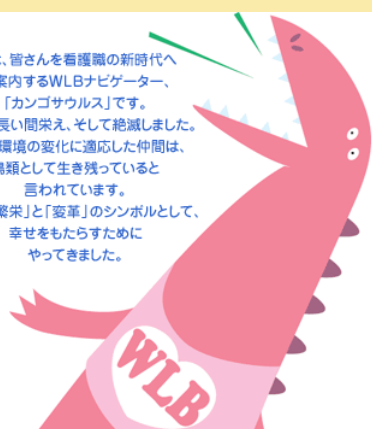
Are You Happy?



看護職の ワーク・ライフ・バランス 推進ガイドブック

多様な勤務形態による
働き方の変革を目指して

私は、皆さんを看護職の新時代へ
ご案内するWLBナビゲーター、
「カンゴサウルス」です。
恐竜は長い間栄え、そして絶滅しました。
でも、環境の変化に適応した仲間が、
鳥類として生き残っていると
言われています。
私は、「繁栄」と「変革」のシンボルとして、
幸せをもたらすために
やってきました。



編集後記

ようやく春の訪れを感じたと思ったら、たんぼぼの綿毛があつという間に飛んでしまい、また、北海道の短い夏も過ぎていきますね。気温の変化に体調を崩さぬようご自愛ください。

働き続けられる職場づくり推進委員会では、今後も皆さまのご活躍を報告して参ります。

編集委員／三浦富士枝 齋藤希久代 菅谷聖奈 影山麻衣 菅原香織

発行所

北海道看護協会釧路支部

編集責任者／西村 由美

担当／働き続けられる

職場づくり推進委員会